

第65回 獣医学セミナー

家猫における外来性及び 内在性レトロウイルス

三宅在子 先生
(感染免疫学分野)

2017年 06月21日 (水) 17:00-18:00

iCOVER 1階101 形態構造学実習室
(2F 201実習室に同時配信)

レトロウイルスはエイズなど様々な疾患の原因となるRNAウイルスの一つである。その生活環には自身のゲノムRNAからDNAへの逆転写、および逆転写されたDNAの宿主ゲノムへの組み込みといった特徴的な過程が存在し、また非常に変異率が高いことも知られている。猫白血病ウイルス (FeLV) は家猫にリンパ腫や白血病などの疾患を引き起こすレトロウイルスであるが、当ウイルスも感染個体の中で様々な変異を起こしその結果新たなタイプのウイルスを産生する。今回、当研究室で新規のサブグループを示すFeLVを新たに発見したのでその詳細について報告したい。一方、レトロウイルスには内在性レトロウイルスと呼ばれる、過去のレトロウイルス感染症の痕跡であり現在は宿主ゲノムと一体化しメンデル遺伝するものが存在し、近年その存在意義が注目されている。今回当ウイルスに関する最近の話題を提供すると共に、やはり当研究室で発見された新規の感染性を保有した家猫内在性レトロウイルスについて紹介したい。

★飲み物・おやつを用意します。

教員・学生の積極的な参加をお願いします！★

連絡先：清水 隆 (5895)
柳田哲矢 (5914)

回青橙の会後援
共同獣医学部

